

県営畑地帯総合整備事業（担い手支援型）粟五地区

地区概要

- 個所名：石川県金沢市五郎島町、栗崎町、内灘町向栗ヶ崎
- 工事内容：
 - パイプライン L=15.5km 排水施設 L=0.6km 用水機場 5ヶ所
 - さく井 2ヶ所 農道整備 L=12.1km 区画整備 A=48.1ha
 - 防風ネット L=0.8km
- 事業費：1,692百万円
- 受益面積：85.7ha
- 事業期間：平成12年度～平成20年度

事業目的

畑作農業経営の体質強化のため、生産合理化を図るために必要な生産基盤整備を行うとともに経営安定等のための環境整備を一体的に行い、担い手農家の経営の安定に資する畑地帯整備を総合的に実施する。

評価結果

ほ場の大型化による大型機械の導入が進み、土地利用率が向上し、担い手農家の増加が進んでいる。また、かんがい施設の更新や農道舗装の実施により、維持管理費の節減が図られ、担い手農家の農業経営の安定に寄与しています

基盤整備



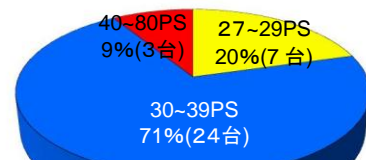
担い手農家の増加が進んでおり、土地利用率も向上しています。

農業機械の大型化

区画整備により、大区画ほ場となり農業機械の大型化が進んでいます。今回の調査では、27PSトラクターが最も小型で、最大80PS級のトラクターが導入されています。



所有トラクターの調査結果



※事業前は18PSのトラクターが主流

安定した農業経営

区画整備や安定した用水供給、排水不良の改良、農道の舗装により生産性が向上した。また、収益性の高い作物の栽培が行われています。

粟五地区の代表作物

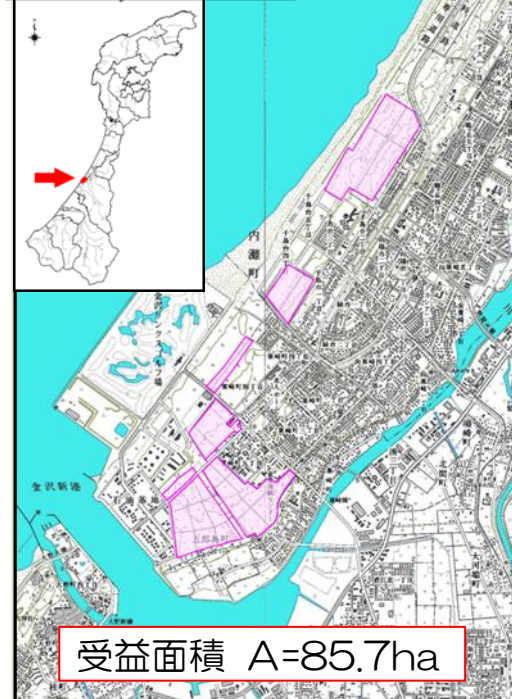


五郎島金時



金沢すいか

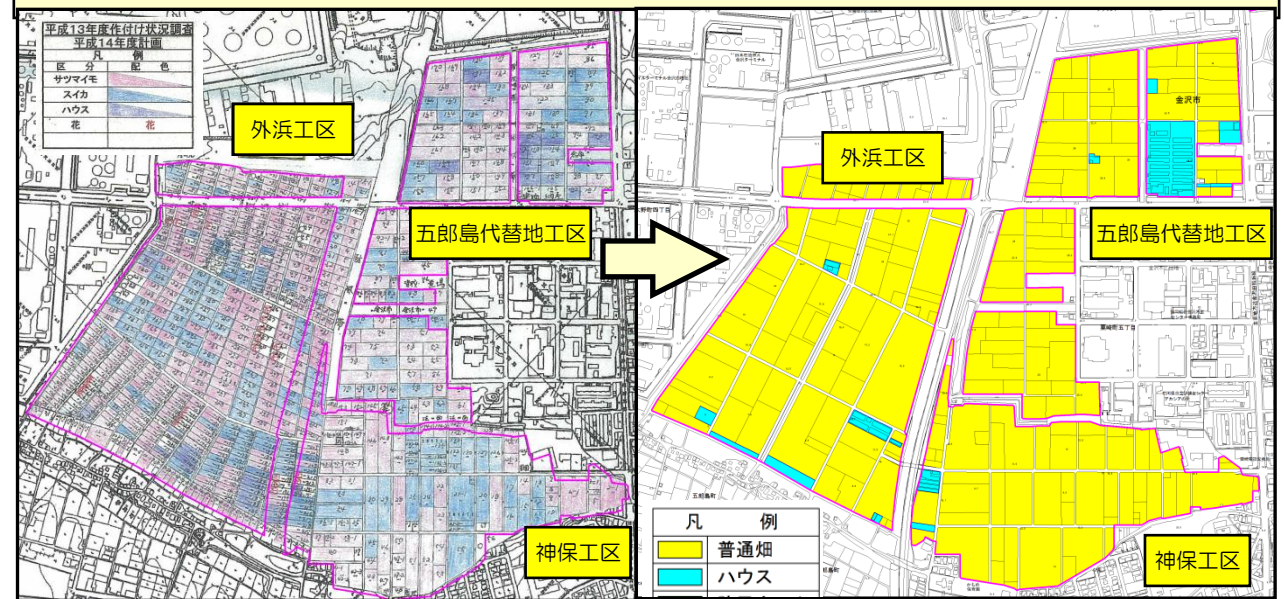
位置図



受益面積 A=85.7ha

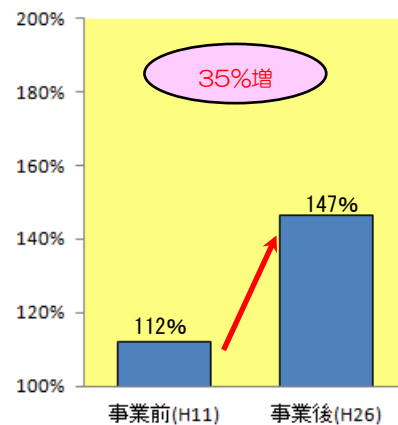
図で見る事業効果

区画整備が実施された外浜工区では、標準3a区画から25a区画に整備されたことにより、大型機械の導入が進み、営農の効率化が図られた。

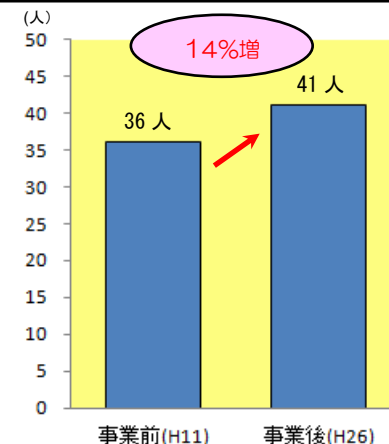


数字で見る事業効果

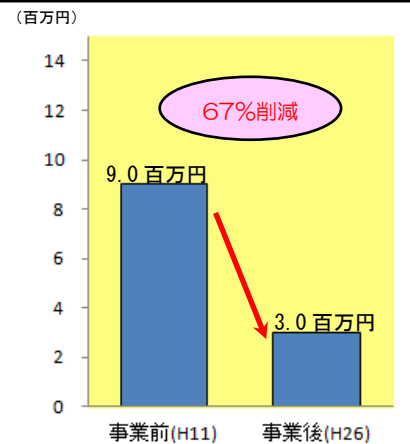
土地利用率



地区の担い手農家数

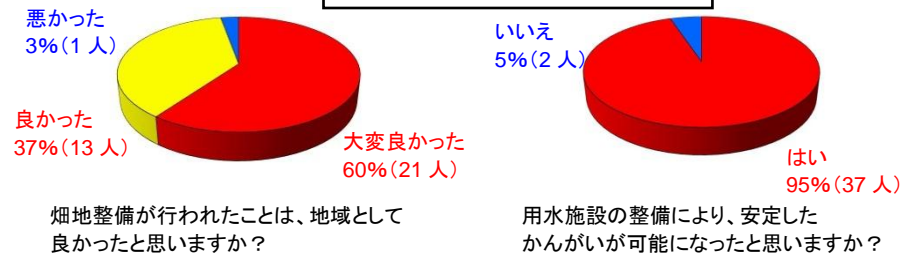


維持管理費（電気代・施設補修費）



地元の声

アンケート調査結果
配布:53世帯 回収:39世帯(73%)



一事業に対する地元の意見

- ・畑地が集約されて作業がしやすくなった
- ・能率よく作業ができる
- ・ポンプの老化が改善された
- ・24時間安定したかんがいと道路整備により作業性が格段に上がりました。

今後の取り組み

本地区は高付加価値作物が栽培されており、一部には6次産業化の取り組みも行われている。今後さらなる経営の安定化を図り持続的発展するためにも、担い手農家の6次産業化への取り組みを進め、経営のさらなる高効率化を目指す。